

(年度当初の計画) 前期訪問日 令和7年 月 日

□ (進捗状況の報告) 後期訪問日 令和7年 月 日

【通年】は極力避ける
通年で実施するものでもその中で
重点時期を設定する

令和7年度

アンケートや観察による見取り、
実施実績等から中間評価をABCで選
択する

A:実施後具体的な効果が見られた
B:実施したが効果はあまり見られない
C:未実施

〇〇町立〇〇小学校

(年度当初の計画)

(進捗状況の報告)

取組Ⅰ 教育課程の改善・充実

No.	主な取組	主担当者	重点時期	具体的な内容	中間評価	後期訪問時の状況と今後の手立て
記入例	学級活動の充実	特活主任	1学期	○学級活動（１）領域の話し合い活動を充実させ、児童の思いや願いの実現に向けて、安全かつ安心な学級の雰囲気を作成する。また、第１回の学校評価アンケート結果で取組状況を把握し改善策等を検討する。	B	○年間指導計画に基づき学級会を実施することができたので、効果的な手立てを共有してより質の高い学級会活動となるよう工夫する。また、他教科での対話的な学習につなげていく手立てについても協議していく。
1				指導と評価の一体化を図るための取組、学校評価の効果的な活用等について記述する		中間評価を踏まえ、改善策等について記述する
2						

取組Ⅱ 指導体制の工夫

記入例	学習規律の共通理解と共通実践	全職員	4月	○学習スタンダードを全校で共有し、学習に取り組みやすい環境を整える。学期末にアンケートや教師の見取りから成果と課題を検証する。	B	○1学期末の取組状況から、学習規律を意識して授業を行っている教員が多く、児童も概ね守っている。一往復半＋αの話し合い活動を充実させ、主体的に学習に取り組めるようにする。
1				特任教員、教科担当制等、具体的な活用方法等について記述する		
2						

取組Ⅲ 指導力の向上

記入例	単元計画の作成	全職員	計画訪問 1人1授業	○「単元構想シート」を作成し、単元の課題、資質・能力が身に付いた単元末の児童の姿を意識した授業づくりとPDCAに基づく検証を行う。	B	○「単元構想シート」に基づく授業づくりに取り組み、実践できた。教師が単元の課題を与えてしまうことが多かった。日常生活との関連を図りながら児童が主体的に解決したくなるような課題設定の仕方を工夫し、その情報を共有して授業改善を進める。
1				校内研修との関わり、授業研究会の充実等について記述する		
2						

取組Ⅳ 各種調査等の分析・活用

記入例	全国学力・学習状況調査の成果及び課題分析	学力向上コーディネーター	夏休み	○実施学年の教職員だけでなく、全職員で分担して全国学力・学習状況調査問題を解き、授業改善の視点を協議し共通理解を図る。 全国学力・学習状況調査、CRT/NRT、QU等の分析・活用について記述する	A	○国語科の「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られるので、これを重点指導項目に位置付け、各学年で系統的に指導し、後期訪問における代表授業で扱う。
1						
2						

取組Ⅴ 他校種、家庭や地域社会との連携・協働

記入例	読書時間の確保	情報主任 図書主任	毎月〇日 夏休み	○中学校区△校で、毎月〇日をノーメディアデイを設定し、家庭学習で読書するきっかけをつくる。また、第1回の学校評価アンケート結果で取組状況を把握し改善策等を検討する。	A	○第1回の学校評価アンケートで、児童の読書に関する評価が低かったので、〇〇通信でノーメディアデイの意義を啓発するとともに、読書記録を書かせ書く力の育成と関連を図りながら、読書する必要性を理解させる。
1				幼小連携・小中連携 家庭学習の工夫・改善		
2				地域ボランティアの活用等について記述する		